

## 「火山がつくる地形(4)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

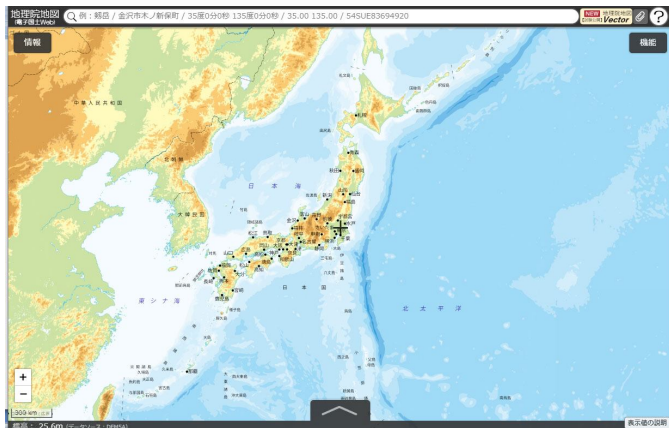
田中 千尋 Chihiro Tanaka

(2) 国土地理院の地形図(Web 版)を使って、その火山の周辺地図を探し出す。

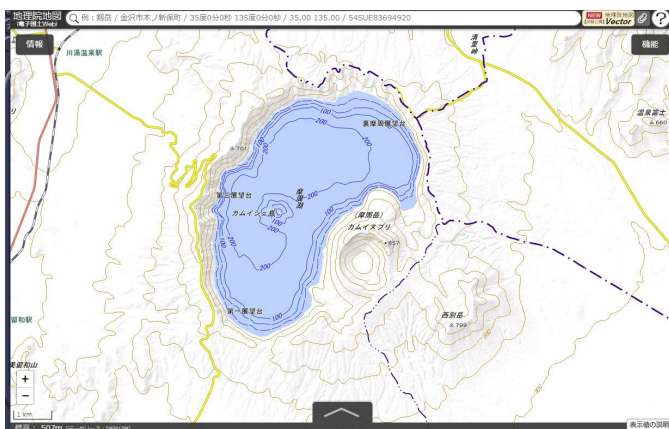
本来この活動は、コンピュータ・ルームで子どもたち自身がする予定だった。しかし運が悪いことに、コンピュータ・ルームのパソコンはWindows7。サポートが終了し、インターネットに接続できなくなってしまった。この作業は、やむを得ず教師自身がすることにした。方法はおよそ以下の通りである。

① 国土地理院の「地形図閲覧」のホームページを開く。

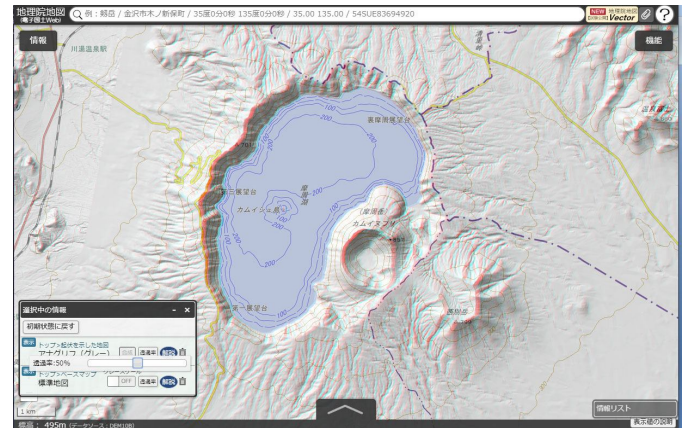
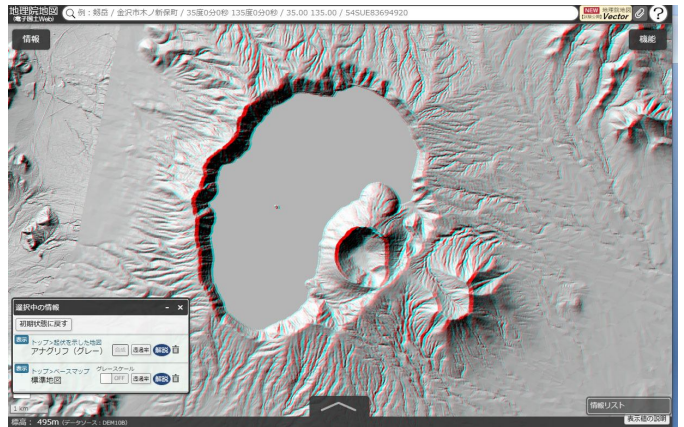
<http://maps.gsi.go.jp/>



② 拡大、スクロールなどで、目的の火山周辺の範囲が示されるように調整する。下の例では、北海道摩周湖とその周辺の火山を表示させた。

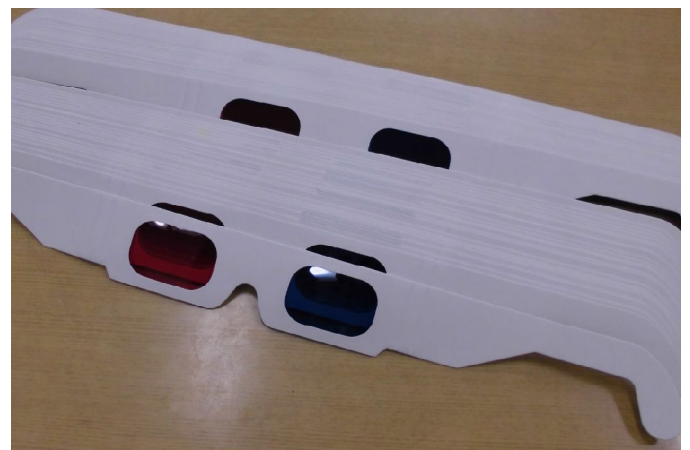


③ 画面左上の「情報」ボタンをクリック→「起伏を示した地図」→「アナグリフ(グレー)」を選択する。ここで「透過率」を調整すると、等高線・道路・線路や地名と重ねて表示することも可能。



上の図が「アナグリフ(グレー)」の立体地形図、下の図が透過率を50%として、地名や道路も表示させた場合。いずれも専用メガネを使うと、PC画面上でも、紙に印刷後でも、地形が立体的に見える。

④ 最後に、右上の「機能」ボタン → 「ツール」 → 「画像として保存」を選ぶと、PCやタブレットに画像として保存でき、その後印刷も可能になる。



アナグリフ画像の観察には、専用のメガネが必要になる。赤と青のセロファンで自作も可能だが、Amazon等で、一枚15円~20円程度で購入できる。(10枚セット~100枚セットまでである) 右目が青になるように使う。逆にかけると、地形の凹凸も逆に見えてしまう。また長時間連続で使うと、気分が悪くなることもあるので、適宜休憩させながら使う注意が必要だ。